

平成18年度
宗谷シニックバイウェイ活動報告

- O. 地域活動報告の概要
 - 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
 - 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
 - 3. 地域及び行政の運営に関する報告
 - 4. 審査委員会意見に関する報告
 - 5. その他の報告

0. 地域活動報告の概要

- ・地域活動に関する報告(宗谷シニックバイウェイ)

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ	
-------------------	--

基本方針	ルート計画活動内容	NO	総括
景観	雄大な自然景観及び宗谷らしい産業景観を魅せる	取組み①:景観趣向に応じたビューポイントの発掘及びマップの作成	6 S - 7 S - 8 S - 9
		取組み②:景観のための地場産業との連携	
		取組み③:環境保全を兼ねた清掃活動	S - 12
	魅せるための景観形成	取組み①:春・夏・秋の季節に応じた植樹活動	
		取組み②:アイスキャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩り	S - 25
		取組み③:流木を活用したプランター作り	S - 13
	より良い景観整備を目指す	取組み①:商業看板等の規制など景観整備・保全のためのルール作り	
		取組み②:地元人としての『慣れ』から脱却し、宗谷を再認識するための勉強会の開催	S - 10 S - 11
		取組み③:地域コミュニケーション形成のための、ボランティアの育成	
環境	住民及び観光客の双方にプラスとなる自然環境及び経済(財布)の両立	取組み①:宗谷シニックマイレージ等オリジナルプログラムの提案	
		取組み②:観光客への啓発活動	
	自慢できる自然・雄大な自然景観の保全	取組み①:環境保全のためのルール作り	
		取組み②:CO2削減のための植林及び植栽活動	
		取組み③:フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止活動の実施	
		取組み④:環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	
		取組み⑤:道路等に散乱するゴミ処理問題に対する提案	
	次世代が安心で豊かな生活を送れる地域づくり	取組み①:宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	S - 4
		取組み②:地域の将来を担う子供たちへの教育活動	
情報	宗谷人の心・温かさを感じる管内での情報発信	取組み①:観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	S - 22
		取組み②:情報ボランティア等人材の発掘及び育成	S - 21
	広報戦略としての宗谷シニックバイウェイデザインの統一	取組み①:宗谷らしいシンボリティックなデザインの提案	S - 2
		取組み②:ルート及び情報発信場所における看板等の設置	
	既往の情報発信ツールを活用したオンリーワンな情報発信	取組み①:既存ツール(さいほくネット等)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信	
		取組み②:分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のためのシステムづくり	
		取組み③:オンリーワンな情報発信内容・方法の提案	S - 20
		取組み④:情報収集方法の確立に向けたルールづくり	

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ				
	基本方針	ルート計画活動内容	NO	総括
観光	観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり	取組み①:空港やフェリーターミナル等宗谷の玄関口における花壇・プランター等の整備		
		取組み②:「歩いて逢う」をテーマとしたフットバス等の参加型・体験型メニューづくり		
		取組み③:稚内北防波堤ドーム及び利尻のライトアップ等第一印象のアピール		
		取組み④:景観趣向に応じたビューポイントマップの作成		
		取組み⑤:ビューポイントを効果的に結ぶルートの策定		
		取組み⑥:三脚台の設置及び大駐車場を備えたカメラ撮影ポイントの整備		
		取組み⑦:利尻島の桜等の植栽活動	S - 26	
		取組み⑧:景観整備及び環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動		
	『種』から育てる新たな観光の創出		S - 14	
			S - 15	
			S - 16	様々な場面でシニックという言葉を使うことにより「すりこむ」「親しむ」ことが重要である。 個別のイベントにおけるシニックらしさの創出を検討していく。
シニックバイウェイ活動の継続及び地域への浸透	『種』から育てる新たな観光の創出	取組み①:大牧草地を活用したパークゴルフ等のグリーンツーリズムの実施	S - 17	
		取組み②:物産等の地域限定商品の発掘及び供給システムづくり	S - 18	
		取組み③:外国人観光及び教育・体験旅行の誘致	S - 19	
	シニックバイウェイ活動の継続及び地域への浸透	取組み①:活動継続に向けた意識改革のための勉強会の実施	S - 23	
		取組み②:シニックバイウェイ活動に対する地域への浸透のためのシンポジウム等の開催		
		取組み③:地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり		

シーニックバイウェイ北海道
宗谷シーニックバイウェイ

平成18年度 活動報告

平成19年3月30日

事務局体制の確立

概要
指定ルートへの申請準備段階から、
ルートにおける会議等の連絡、イベント
等の情報集約を目的として、事務局を
稚内観光協会内に設置している。
ルートとして開催するイベントの連絡・
問合せ先を統一することができている。

連絡先
宗谷シーニックバイウェイ 事務局
稚内観光協会内
TEL:0162-24-1216
FAX:0162-24-0016



シーニックバイウェイ北海道
宗谷シーニックバイウェイ

事務局：稚内観光協会内 (tel:0162-24-1216、fax:0162-24-0016)

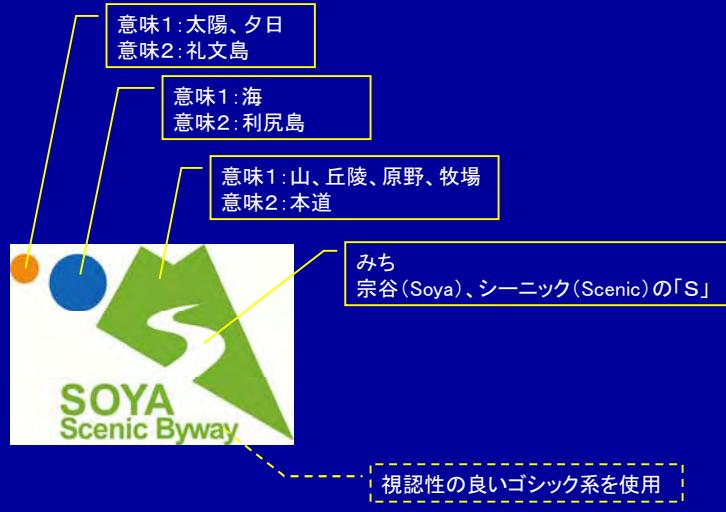
フォーラムで使用したロゴと連絡先の封筒用シール

口ゴの決定

SOYA Scenic Byway

S-2

今後作成する予定のマップや各種イベントで使用する製作物等へ記載し、ルートとしての一体感を創出することを目的とし、決定した。



道路情報板のルート名称標示

SOYA Scenic Byway

S-3

日 時	平成18年4月19日(水)～
場 所	国道、道道の道路情報板
主 催	稚内開発建設部、稚内土木現業所
概 要	国道、道道の道路情報板に「この区間は宗谷シニックバイウェイルートです」と標示した。
今後の展開	宗谷シニック関係者(団体)からは、感嘆の声があった。また、一般住民からは、「宗谷シニックバイウェイって何?」という声もある。名称の浸透という広報としての成果は、あったと考えられる。今後、各種事業、又は活動団体の活動を通して、シニックバイウェイ制度・活動の周知を行っていく。



環境フォーラム

日 時	平成18年4月20日(木)
場 所	稚内総合文化センター
主 催	宗谷シニックバイウェイルート運営代表者会議
概 要	地域の魅力を見つめなおして域内循環や地域の経済力向上を図るための取り組み「産消協働」をキーワードにしたフォーラムを開催。
出演者	<p>講演会「近自然学入門 自然と豊かさの共存・持続とは」 ■講師～山脇正俊 パネルディスカッション「魅力的で個性的なまちづくりに必要なものとは」 ■パネラー～山脇正敏、湯浅優子、和泉晶裕、岩間幹生、横澤輝樹 ■コーディネーター～新田みゆき</p>



ルート運営行政連絡会議

日 時	平成18年5月24日(水) 16:00～17:00
場 所	稚内開発建設部 3F供用会議室
主 催	ルート運営行政連絡会議
参加者	稚内市、猿払村、豊富町、礼文町、利尻町、利尻富士町、宗谷支庁、稚内土木現業所、環境省稚内自然保護官事務所、稚内開発建設部、宗谷シニックバイウェイルート運営代表者会議
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート指定の報告 ・規約の承認 ・運営指針の策定スケジュールの確認
今後の展開	行政連絡会議として、宗谷シニックバイウェイの活動に寄与するべく、「運営指針」の策定を行う。



景観診断(1/4)～利尻

日 時	平成18年6月7日(水) 9:50～15:30
場 所	利尻富士町、利尻町
主 催	宗谷シーニックバイウェイ 景観分科会 稚内開発建設部、利尻富士町、利尻町
参 加 者	28人
概 要	地元の団体がガイドをするバスに乗車し、景観ポイントを確認した。また、国立公園やシーニックの活動についての勉強会、意見交換会を行った。



景観診断(2/4)～猿払

日 時	平成18年7月11日(火) 9:00～15:00
場 所	猿払村
主 催	宗谷シーニックバイウェイ 景観分科会 稚内開発建設部、猿払村
参 加 者	23人
概 要	地元の団体がガイドをするバスに乗車し、景観ポイントを確認した。また、意見交換会も行った。



景観診断(3/4)～礼文

日 時	平成18年9月29日(金) 13:00～16:00
場 所	礼文町
主 催	宗谷シーニックバイウェイ 景観分科会 稚内開発建設部、礼文町
参 加 者	12人
概 要	地元の団体がガイドをするバスに乗車し、景観ポイントを確認した。



景観診断(4/4)～稚内・豊富

日 時	平成18年10月29日(日) 9:00～16:00
場 所	稚内市、豊富町
主 催	宗谷シーニックバイウェイ 景観分科会 稚内開発建設部、稚内市、豊富町
参 加 者	34人
概 要	地元の団体がガイドをするバスに乗車し、景観ポイントを確認した。また、意見交換会も行った。



宗谷シニックバイウェイトークショー

日 時	平成18年9月30日(土)
場 所	稚内全日空ホテル
主 催	宗谷シニックバイウェイルート運営代表者会議
概 要	景観形成や観光誘致、そして地域づくりまでサポートできる花の魅力をテーマに学ぶ。
出演者	<ul style="list-style-type: none"> ■参加者～三島敬子、かとうけいこ、高橋美幸、新田みゆき ■進行役～高野伸栄



「人」「路」シンポジウム

日 時	平成18年9月30日(土)
場 所	稚内全日空ホテル
主 催	未来のくらしと宗谷路を考える会 (共催:宗谷シニック)
概 要	「これから日本の路」について、日本の最北端の地から発信する。
出演者	<ul style="list-style-type: none"> 基調講演 ネットワーク新時代～最北へと続く「みち(路)ルネッサンス」 <ul style="list-style-type: none"> ■講師～谷口博昭 パネルディスカッション 「考え方！日本の道路をさいほくの路から」 <ul style="list-style-type: none"> ■パネラー～石田東生、臼井純子、横田耕一、谷原一郎 ■アドバイザー～谷口博昭 ■コーディネーター～青山佳世



彩りプロジェクト2006海岸清掃と流木集め

日 時	平成18年5月20日(土)
場 所	こうほねの家(利尻礼文サロベツ国立公園内)
主 催	稚内みなとまちづくり懇談会
概 要	流木集め・海岸清掃(稚内西海岸)を実施。大勢の参加者が集まった。



彩りプロジェクト2006流木プランター製作

日 時	平成18年6月18日(日)
場 所	こまどり5丁目 緑側(南側)広場
主 催	稚内みなとまちづくり懇談会
概 要	春に行った「彩りプロジェクト2006海岸清掃と流木集め」に続く第2弾として、集めた流木を使ったゴミの出ない流木プランターを作製。



WAKKANAIみなとコンサート

日 時	平成18年8月26日(土)
場 所	稚内港北防波堤ドーム内
主 催	稚内のみなどを考える女性ネットワーク
概 要	市内小中高生による合唱や吹奏楽、市民バンドによる演奏が行われた。また、当日は「北海道12港湾写真付切手シート」や「ドーム70周年記念Tシャツ」の販売もされた。



第一回 利尻島サーモンフィッシングフェスティバル

日 時	平成18年9月17日(日)
場 所	利尻富士町鬼脇港
主 催	利尻富士町宿泊業組合
概 要	参加資格は前日又は当日フィッシング参加のため加盟宿泊施設に宿泊された方を対象に実施。



第一回 利尻島写真フェスティバル

日 時	平成18年8月1日～平成18年8月31日
場 所	利尻島を対象
主 催	利尻富士町宿泊業組合
概 要	利尻島に来て宿泊して写した、利尻島の風景などの写真を応募してもらった。



北防波堤ドームグルメまつり

日 時	平成18年9月16日(土)～26日(火)
場 所	稚内港北防波堤ドーム内
主 催	稚内観光協会
概 要	北防波堤ドーム70周年記念として最北端の特選海産物をドームで販売。市内観光協会加盟宿泊施設にお泊りの方には、「ホタテ貝焼き」または「カニの鉄砲汁」のプレゼント券を進呈。



居酒屋てっぺん

日 時	平成18年9月22日(金)～24日(日)
場 所	稚内港北防波堤ドーム内
主 催	稚内観光協会青年部
概 要	上記の期間に合わせて海産物メインの特別居酒屋開店。ビール2杯(またはジュース)と焼き物セット、お楽しみ抽選付で2,000円。ドーム特設会場内の炭火で楽しんでいただいた。



高山植物の種プレゼント

日 時	平成18年9月中旬～10月上旬
場 所	フェリーターミナル観光案内窓口
主 催	礼文町観光協会
概 要	礼文島に咲く高山植物の花の種400個をフェリーターミナル観光案内窓口で来島者に無料配布。



シーニックミステリーツアー		SOYA Scenic Byway
日 時	平成18年10月14日(土)・15日(日)	S-20
場 所	稚内市～豊富町	
主 催	宗谷シーニックバイウェイルート 情報分科会	
概 要	カメラ付き携帯電話の「QRコード読み取り機能」を利用して専用サイトへアクセス、それぞれの行き先の指示に従いクリアしていくというもの。カメラ付携帯が普及する中で個人のお客様がどの程度の利用が見込まれ、また同時にどのような情報を欲するのか(道路情報・トヨレ情報・休憩情報など)を同時に調査。	

SOYA Scenic Byway

S-21

あしあとプロジェクト

日 時	平成18年9月6日(水)～11日(月)
場 所	宗谷シニックバイウェイルート
主 催	宗谷シニックバイウェイ情報分科会、 中央大学総合政策学部・松野良一研究室、稚内北星学園大学・高谷邦彦研究室
概 要	宗谷シニックバイウェイの各ルートを画像と映像を使ってクチコミ的に紹介する「Web2.0」なサービス／システムです。 ムービー、GPS付携帯電話の画像、 Google Mapsを組み合わせたサイト構築 の実験を行いました。

「Wakkai Project」(稚内プロジェクト)のWebページ

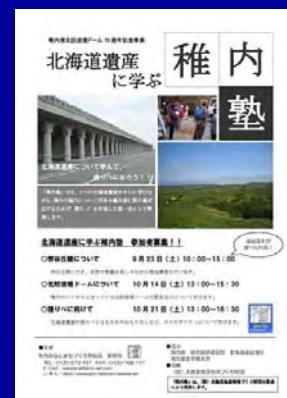
http://www.ashi-ato.jp/200609_wakkai/member/list

メインページ

詳細ページ

稚内塾

日 時	平成18年9月23日(土)、10月14日(土)、10月21日(土)
場 所	稚内市
主 催	稚内みなとまちづくり懇談会
概 要	3回のシリーズに分けて行われています「稚内塾」。これは稚内の魅力として高い北海道遺産を中心に学び、市民への語りべを目標とした第一歩として開催されています。9/23は宗谷丘陵について、10/14は北防波堤ドームについて、10/21は語りべについて開催されます。



観光案内所情報交換

日 時	平成18年6月～9月
場 所	各観光関係窓口
主 催	宗谷シニックバイウェイ情報分科会、稚内・利尻富士・利尻・礼文・豊富・猿払各観光協会
概 要	情報分科会の連携事業として、稚内観光協会事務局が6月～9月の3ヶ月間、気象・イベント・花情報など窓口に毎日のように情報を流し交換。この成果・結果はまとめて次年度へ引き継ぎたいと考えている。

2006年9月6日 今日のルート内情報									
市 市 体 名	稚 内 市	利 尻 富 士 市	利 尻 市	礼 文 町	豊 富 町	猿 払 村	津 扎 村	利 尻 鹿 久 村	利 尻 稚 内 村
信 息 提 供 先	(稚内観光協会)	(稚内市・利尻富士市内)	(利尻町・利尻島内)	(礼文町・礼文島内)	(豊富町・利尻富士市内)	(豊富町・利尻富士市内)	(豊富町・利尻富士市内)	(豊富町・利尻富士市内)	(稚内市・利尻富士市内)
天 气	晴れ								
気 温	19 ℃	21 ℃	20 ℃	20 ℃	20 ℃	20 ℃	20 ℃	20 ℃	19 ℃
体 感 気 温	19 ℃	21 ℃	20 ℃	20 ℃	20 ℃	20 ℃	20 ℃	20 ℃	19 ℃
花 の 作 楽	さくらんぼ ひなづり								
登 役	農業課 農業課								
森 の 性 格	温帯								
森 の 性 格	温帯								
空 気 状 況	余裕あり								
イ ベ ン ト	2006年9月6日～9月23日 （2006年9月15日～16日）								
モ の 性	2006年9月6日～9月23日 （2006年9月15日～16日）								

<参考文>
宗谷シニックバイウェイ情報分科会、稚内観光協会
TEL:011-24-1181 FAX:010-24-0001

稲作に挑戦

SOYA Scenic Byway

S-24

日 時	平成18年
場 所	利尻富士町
主 催	利尻富士町観光協会長
概 要	利尻富士町観光協会会長森さんのところで稲作を行ったところ見事に穂を付けました。



彩北わつきやナイト

SOYA Scenic Byway

S-25

日 時	平成19年2月10日(土)
場 所	こまどり5丁目 緑側(南側)広場
主 催	稚内みなとまちづくり懇談会
概 要	中心市街地の軸であり、まちとみなとをつなぐ「駅前通り～みなと」を中心に、スノーキャンドルでまちを灯した。



桜事業

日 時	平成18年5月20日～6月20日 10月5日～10月6日
場 所	利尻富士町
主 催	利尻富士町宿泊業組合
概 要	利尻富士町宿泊組合加盟の宿泊施設に泊まった観光客を対象に1本5千円で購入植樹してもらい、先着30名に桜才一ナーとなってもらった。 また、維持管理を適正に行うために、樹木医を招聘し桜セミナーを開催した。



1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(宗谷シニックバイウェイ)

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ	報告者:宗谷シニックバイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月:2007/3/31
-------------------	-------------------------	----------------

★:ルート運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	ルート計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
景観 124	雄大な自然景観及び宗谷らしい産業景観を魅せる	S - 6 7 8 9	【景観診断】地元の団体がガイドをするバスに乗車し、景観ポイントを確認した。また、国立公園やシニックの活動についての勉強会、意見交換会を行った。	代表者会議	平成18年6月7日(水) (利尻) 平成18年7月11日 (火)(猿払) 平成18年9月29日 (金)(礼文) 平成18年10月29日 (日)(稚内、豊富)	景観診断を行い、ビューポイントの抽出ができた。そのビューポイントを紹介するマップを平成19年3月～4月に作成している。	現在行われている活動の連携方策の検討していく。
			取組み②:景観のための地場産業との連携				
		S - 12	【彩りプロジェクト2006海岸清掃と流木集め】流木集め・海岸清掃(稚内西海岸)を実施。大勢の参加者がありました。	稚内みなとまちづくり懇談会	平成18年5月20日 (土)	様々な団体との連携により、海岸の景観を維持することができた。大勢の参加があったのは良かったが、駐車場が確保できなかった。	
	魅せるための景観形成		取組み①:春・夏・秋の季節に応じた植樹活動				
		S - 25	【彩北わっきやナイト】中心市街地の軸であり、まちとみなとをつなぐ「駅前通り～みなと」を中心に、スノーキャンドルでまちを灯す。	稚内みなとまちづくり懇談会	平成19年2月10日 (土)	年々参加者が多くなり、冬の風物詩として定着しつつある。今年度は各団体との連携に力を入れた。次回からもイベントとしてのレベルアップを図りたい。	
		S - 13	【彩りプロジェクト2006流木プランター製作】春に行なった「彩りプロジェクト2006海岸清掃と流木集め」に続く第2弾として、集めた流木を使ったゴミの出ない流木プランターを作成。	稚内みなとまちづくり懇談会	平成18年6月18日 (日)	流木プランターを見ることにより、市民がゴミの再生ということに目を向けてくれるようになった。もう少しアート性を持たせたほうが良いかもしれません。	
	より良い景観整備を目指す		取組み①:商業看板等の規制など景観整備・保全のためのルール作り				
		S - 10	【宗谷シニックバイウェイトークショー】景観形成や観光誘致、そして地域づくりまでサポートできる花の魅力をテーマに学ぶ。	代表者会議	平成18年9月30日 (土)	トークショーという形、また、テーマを花にしていたため、広く一般の方々の参加を促すことができた。ここで話された内容を地域の活動に反映していくための議論が必要と考える。	
		S - 11	【「人」「路」シンポジウム】「これからの日本の路」について、日本の最北端の地から発信する。	未来のくらしと宗谷路を考える会	平成18年9月30日 (土)	最北の地のあり方として、ローカリゼーションというキーワードを中心に宗谷地域のあり方にについて考えた。地域の活動を検討する時にも、再度検討するテーマであると考えている。	
			取組み③:地域コミュニケーション形成のための、ボランティアの育成				

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ			報告者:宗谷シニックバイウェイ代表 岩間 幹生			報告年月:2007/3/31		
★:ルート運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み								
	基本方針	ルート計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
125	住民及び観光客の双方にプラスとなる自然環境及び経済(財布)の両立	取組み①:宗谷シニックマイレージ等オリジナルプログラムの提案						他分科会、他機関と連携を行いながら実施できるものを検討していく。
		取組み②:観光客への啓発活動						
	自慢できる自然・雄大な自然景観の保全	取組み①:環境保全のためのルール作り						
		取組み②:CO2削減のための植林及び植栽活動						
		取組み③:フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止活動の実施						
		取組み④:環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動						
		取組み⑤:道路等に散乱するゴミ処理問題に対する提案						
	次世代が安心で豊かな生活を送れる地域づくり	取組み①:宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	S - 4	【環境フォーラム】地域の魅力を見つめなおして域内循環や地域の経済力向上を図るための取り組み「産消協働」をキーワードにしたフォーラムを開催。	代表者会議	平成18年4月20日(木)	地域らしさ、地域の魅力を踏まえ、循環、自然との共存について考えるきっかけになった。今後も、継続して開催を検討する。	
		取組み②:地域の将来を担う子供たちへの教育活動						
情報	宗谷人の心・温かさを感じる管内での情報発信	取組み①:観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	S - 22	【観光案内所情報交換】情報分科会の連携事業として、稚内観光協会事務局が6月～9月の3ヶ月間、気象・イベント・花情報など窓口に毎日のように情報を流し交換。この成果・結果はまとめて次年度へ引き継ぎたいと考えている。	稚内・利尻富士・利尻・礼文・豊富・猿払各観光協会	平成18年6月～9月	日々の情報発信が可能となり、スタッフの日常作業としても定着したが、一部町村で情報更新が遅れがちであるため、来年度から徹底したい。	行政連絡会議、他機関の情報提供媒体との連携や役割分担を行う検討をして
		取組み②:情報ボランティア等人材の発掘及び育成	S - 21	【稚内塾】3回に分けて開催。稚内の魅力として高い北海道遺産を中心学び、市民への語りべを目指した第一歩として開催した。	稚内みなとまちづくり懇談会	平成18年9月23日、10月14日、10月21日	稚内市としてボランティアガイド養成の企画が出ているが、シニックとしてはまだ取り組みが遅れている。	
	広報戦略としての宗谷シニックバイウェイデザインの統一	取組み①:宗谷らしいシンボリティックなデザインの提案	S - 2	【ロゴの決定】今後作成する予定のマップや各種イベントで使用する製作物等へ記載し、ルートとしての一体感を創出することを目的とし、決定した。	代表者会議		ロゴは正式に決定した。来年度は認知度を高めるための広報が必要。	
		取組み②:ルート及び情報発信場所における看板等の設置					未設置。携帯サイト等を活用して、コストのかからないガイド方法を検討中。	

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ			報告者:宗谷シニックバイウェイ代表 岩間 幹生			報告年月:2007/3/31	
★:ルート運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み							
基本方針	ルート計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
既往の情報発信ツールを活用したオンラインな情報発信	取組み①:既存ツール(さいほくネット等)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信					ブログを開設して更新中。更新頻度を高めることが課題である。	いく。
	取組み②:分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のためのシステムづくり					メーリングリストを検討中。パソコンを使わないメンバーへの対処が問題点。	
	取組み③:オンラインな情報発信内容・方法の提案	S - 20	【シニックミステリーツアー】カメラ付き携帯電話の「QRコード読み取り機能」を利用して専用サイトへアクセス、それぞれの行き先の指示に従いクリアしていくというも。カメラ付携帯が普及する中で個人のお客様がどの程度の利用が見込まれ、また同時にどのような情報を欲するのか(道路情報・トイレ情報・休憩情報など)を同時に調査。	宗谷シニックバイウェイルート情報分科会	平成18年10月14日(土)・15日(日)	関係各所からの要望が高いため、来年度も開催を予定。	
	取組み④:情報収集方法の確立に向けたルールづくり					まだ情報収集方法を模索している段階である。	
126	取組み①:空港やフェリーターミナル等宗谷の玄関口における花壇・プランター等の整備						
	取組み②:「歩いて逢う」をテーマとしたフットパス等の参加型・体験型メニューづくり						
	取組み③:稚内北防波堤ドーム及び利尻のライトアップ等第一印象のアピール						
	取組み④:景観趣向に応じたビューポイントマップの作成						
	取組み⑤:ビューポイントを効果的に結ぶルートの策定						
	取組み⑥:三脚台の設置及び大駐車場を備えたカメラ撮影ポイントの整備						
	取組み⑦:利尻島の桜等の植栽活動	S - 26	【桜事業】利尻富士町宿泊組合加盟の宿泊施設に泊まった観光客を対象に1本5千円で購入植樹してもらい、先着30名に桜オーナーとなってもらった。また、維持管理を適正に行うために、樹木医を招聘し桜セミナーを開催した。	利尻富士町宿泊業組合	平成18年5月20日～6月20日、10月5日～6日	当初目標の30名が達成できた。また、町内の公園に寄贈を受けた桜を移植し、桜公園として新たな観光名所つくりもしているが、今年は15本の寄贈を受けた。樹木医を招いた桜セミナーも組合員のみならず町民にも広く呼びかけ実施した。H19以降も実施する予定である。	
	取組み⑧:景観整備及び環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動						

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ			報告者:宗谷シニックバイウェイ代表 岩間 幹生			報告年月:2007/3/31	
★:ルート運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み							
基本方針	ルート計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光 観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり		S - 14	【WAKKANAIみなとコンサート】市内小中高生による合唱や吹奏楽、市民バンドによる演奏が行われた。また、当時は「北海道12港湾写真付切手シート」や「ドーム70周年記念Tシャツ」の販売された。	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	平成18年8月26日(土)		様々な場面でシニックという言葉を使うことにより「すりこむ」「親しむ」ことが重要である。個別のイベントにおけるシニックらしさの創出を検討していく。
		S - 15	【第一回 利尻島サーモンフィッシングフェスティバル】参加資格は前日又は当日フィッシング参加のため加盟宿泊施設に宿泊された方対象で実施。	利尻富士町宿泊業組合	平成18年9月17日(日)		
		S - 16	【第一回 利尻島サーモンフィッシングフェスティバル】参加資格は前日又は当日フィッシング参加のため加盟宿泊施設に宿泊された方対象で実施。	利尻富士町宿泊業組合	平成18年9月17日(日)	島民との交流を図るため、島内から参加者も募集し29名が参加した。H19も実施予定でいる。H18は周知期間が短かったため、情報発信等を工夫したい。	
		S - 17	【第一回 利尻島写真フェスティバル】利尻島に来て宿泊して写した、利尻島の風景などの写真を応募してもらった。	利尻富士町宿泊業組合	平成18年8月1日～平成18年8月31日	平成18は15名が応募した。周知期間が短かったため、情報発信等を工夫したい。	
		S - 18	【居酒屋てっぺん】上記4の期間に合わせて海産物メインの特別居酒屋。ビール2杯(またはジュース)と焼き物セット、お楽しみ抽選付で2,000円。ドーム特設会場内の炭火で楽しんでいただいた。	稚内観光協会青年部	平成18年9月22日(金)～24日(日)		
		S - 19	【高山植物の種プレゼント】礼文に咲く高山植物の花の種400個をフェリーターミナル観光案内窓口で来島者に無料配布。	礼文町観光協会	平成18年9月中旬～10月上旬		
		S - 23	【稲作に挑戦】利尻富士町観光協会会长長森さんのところで稲作を行ったところ見事に穂を付けました。			小規模ではあったが、シニックという言葉の浸透は図られた。19年度は花の種の販売を考えており、その際にも使っていきたいと考えている。	
『種』から育てる新たな観光の創出	取組み①:大牧草地を活用したパークゴルフ等のグリーンツーリズムの実施						
	取組み②:物産等の地域限定商品の発掘及び供給システムづくり						
	取組み③:外国人観光及び教育・体験旅行の誘致						
シニックバイウェイ活動の継続及び地域への浸透	取組み①:活動継続に向けた意識改革のための勉強会の実施						
	取組み②:シニックバイウェイ活動に対する地域への浸透のためのシンポジウム等の開催						
	取組み③:地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり						

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

・行政の事業に関する報告(宗谷シニックバイウェイ)

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ		報告者:稚内開発建設部	報告年月:2007/3/31			
	基本方針	平成18年度の活動内容	実施機関	活動実施日	成果及び課題	総括
景観	雄大な自然景観及び宗谷らしい産業景観を魅せる	【景観診断】 北海道開発局が実施している地域協働プロジェクトの一つ「道路沿道景観の通信簿」と協働して実施した。また、各市町村がバスの提供を行った。	稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市、猿払村、豊富町、礼文町、利尻町、利尻富士町	平成18年6月7日(水)(利尻) 平成18年7月11日(火)(猿払) 平成18年9月29日(金)(礼文) 平成18年10月29日(日)(稚内、豊富)	行政と地域住民が協働で行うことにより、景観阻害要因及び改善策等を互いに議論・検討・共有することが出来た。今後はこの結果に基づき具体的にどう整備していくかが課題。	官民一体となった取り組みは効果的であり、今後も継続していくたい。
		【とるばの登録の推進及び整備】 「とるば」を紹介し、登録について推進を図っている。また、登録箇所への案内表示の設置等	稚内開発建設部	通年	現在、宗谷管内では4箇所が登録されている。(国道2箇所整備済み)今後は、未整備箇所の整備を早期に実施する。 地域住民への浸透は浅く、代表者会議と連携した更なるPRが必要。	継続してPRを行っていく。
	魅せるための景観形成	【彩北わっさやナイト】 スノーキャンドル作成のため給水車の提供を行った。また、キャンドル点灯に合わせて稚内港北防波堤ドームの照明を消灯した。	稚内市	平成19年2月10日(土)	給水車の提供によりスノーキャンドル作成が効率的に実施された。 照明消灯は好評だった。	
		【アイスキャンドルロードへの応援】 中央地区商店街イベントを応援するため、アイスキャンドルを作成し稚内駅前の道道沿道で点灯した。	稚内土木現業所	平成19年2月10日(土)	駐車場や空店舗の前などにキャンドルを点灯することができた。 好評だった。	
環境	より良い景観整備を目指す	【宗谷シニックバイウェイトークショー】 代表者会議と協働で開催した。	稚内開発建設部、宗谷支庁、稚内市	平成18年9月30日(土)	託児所を設置することにより、普段ではあまり参加されない主婦等の方々にも参加頂き、「宗谷シニックバイウェイ」を知っていただく良い機会となった。	
		【「人」「路」シンポジウム】 代表者会議と協働で開催した。				
	住民及び観光客の双方にプラスとなる自然環境及び経済(財布)の両立					
情報	自慢できる自然・雄大な自然景観の保全					
	次世代が安心で豊かな生活を送れる地域づくり	【環境フォーラム】 代表者会議と協働で開催した。	稚内開発建設部、環境省稚内自然保護官事務所、北海道宗谷支庁、稚内市	平成18年4月20日(木)		
	宗谷人の心・温かさを感じる管内での情報発信					
観光	広報戦略としての宗谷シニックバイウェイデザインの統一					
	既往の情報発信ツールを活用したオンラインな情報発信	【コミュニティFMを活用した情報発信】 宗谷管内のコミュニティFM「わっぴー」を活用して特別番組「GOGOそうや！2006～宗谷の道に夢をのせて」を放送した。	稚内開発建設部	平成18年8月18日(金) 16:00～17:00	地域に密着したコミュニティFMを利用したことで、より効果的に地域住民に対しPRすることができた。	地域に密着したコミュニティFMは有効な広報媒体であり、今後も効果的なPRに努める。
		【道路情報板のルート名称標示】 国道、道道の道路情報板に「この区間は宗谷シニックバイウェイルートです」と標示した。	稚内開発建設部、稚内土木現業所	平成18年4月19日(水)～	国道、道道利用者に対しPRすることができた。	継続して実施していく。
	観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり					
	『種』から育てる新たな観光の創出					
	シニックバイウェイ活動の継続及び地域への浸透					

3. 地域及び行政の運営に関する報告

・宗谷シニックバイウェイ

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ	報告者:宗谷シニックバイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月:2007/3/31
-------------------	-------------------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	代表者会議(全体)		4/20幹事会			7/10幹事会	8/24幹事会						2/16代表者会議		
	(取組み)														

← ルート内情報の集約・発信 →

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ	報告者:稚内開発建設部	報告年月:2007/3/31
-------------------	-------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議の実施			5/24会議										3/14会議	

4. 審査委員会意見に関する報告

・宗谷シニックバイウェイ

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ	報告者:宗谷シニックバイウェイ代表 岩間 幹生/稚内開発建設部	報告年月:2007/3/31
-------------------	---------------------------------	----------------

		宗谷シニックバイウェイルート運営代表者会議の報告	宗谷シニックバイウェイルート行政連絡会議の報告	備考
宗谷シニック	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	・高山植物の種プレゼント		
	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	・景観診断の実施 ・彩りプロジェクトの実施	・景観診断の実施 ・彩りプロジェクトの実施	
	自然に与えられた景観の活用に加え、まちなかの建物・看板等の規制や指導などの検討			
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史文化資源の活用、食文化、レクリエーション資源など幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	・環境フォーラムの実施 ・宗谷シニックバイウェイトークショーの実施 ・「人」「路」シンポジウムの実施 ・WAKKANAIみなとコンサートの実施 ・第一回 利尻島サーモンフィッシングフェスティバルの実施 ・第一回 利尻島写真フェスティバルの実施 ・北防波堤ドームグルメまつりの実施 ・居酒屋てっぺんの実施 ・シニックミステリーツアーの試行	・環境フォーラムの実施 ・宗谷シニックバイウェイトークショーの実施 ・「人」「路」シンポジウムの実施	
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用			
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	・稚内塾の開催 ・観光案内所情報交換	・稚内塾の開催	
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	・宗谷バス株式会社、東日本海フェリー株式会社の2団体が加入		
	開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	・利尻富士町宿泊業組合、フラワーマスター稚内の2団体が加入		

5. 平成17年度活動報告への助言に対する状況報告

・宗谷シニックバイウェイ

ルート名称:宗谷シニックバイウェイ		報告者:宗谷シニックバイウェイ
-------------------	--	-----------------

平成17年度活動報告への助言	平成18年度 状況報告	備考
助言 1 ①現状における「運営体制」「関係団体数」「関係自治体」等の実態にあわせルート運営活動計画を見直すこと。	指定ルート初年度のため、見直しを必要としていない。	
助言 2 ②基幹となる道路に、地域住民、旅行客が共有できるような分かりやすい名称の検討が必要	指定ルート申請時に名称をつけている。	

